



# 2025年卒 理系学生の就職先企業（専攻分野別）

2024年7月

株式会社キャリアタス / キャリタスリサーチ

# 調査概要

2025年卒・理系学生の就職先企業について、4つの専攻分野（機械・電気系／情報系／土木・建築系／化学・農学・薬学系）、あるいは文系学生の就職先との比較などを通して、その特徴を分析した。

巻末には、7月までの活動状況の振り返りとして、主な調査データを抜粋して紹介する。

## <目次>

- 1. 就職決定業界 P 3
- 2. 就職決定職種、専攻分野との関連 P 4
- 3. 就職決定企業への応募ルート、当初志望度 P 5
- 4. 就職決定企業を知ったきっかけ P 6
- 5. 就職決定企業で働きたいと思ったタイミング P 7
- 6. 就職決定企業のインターンシップ等\*参加状況 P 8
- 7. 就職決定企業に決めた理由 P 9
- 8. 就職先を決めて就職活動を終了した時期 P11

## <調査概要>

調査対象 : 2025年3月に卒業予定の理系大学生・大学院生  
 サンプル : キャリタス就活 学生モニター2025  
 調査方法 : インターネット調査法

	第5回定期調査	第9回定期調査	インターンシップ等特別調査
調査時期	2024年3月	2024年7月	2024年3月
回答者数	1,175人	1,123人	717人
理系全体	446人	431人	296人
機械・電気系	95人	92人	57人
情報系	77人	80人	53人
土木・建築系	57人	56人	40人
化学・農学・薬学系	166人	156人	118人

※上記以外の専攻系統も「理系全体」に含まれる。そのため、4専攻系統の人数の合計は「理系全体」と一致しない。

## (モニター構成比：%)



## 【参考】

- ・インターンシップ等参加状況①（参加類型） P12
- ・インターンシップ等参加状況②（参加時期、社数） P13
- ・就職活動量 P14
- ・就職環境への考え P15

\* 就業体験を含まない1日以内のプログラムも含めて調査

# 1. 就職決定業界(上位業界)

- 機械・電気系学生は、1位「自動車」(28.9%)、2位「電子・電機」(15.8%)、3位「機械」(14.5%)と続き、メーカーが上位に並ぶ。
- 土木・建築系学生は「建設・住宅・不動産」(77.8%)に、情報系学生は「情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト」(44.6%)に集中。
- 「情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト」は情報系のみならず、他の専攻分野や文系でも上位業界に入っている。

(%)

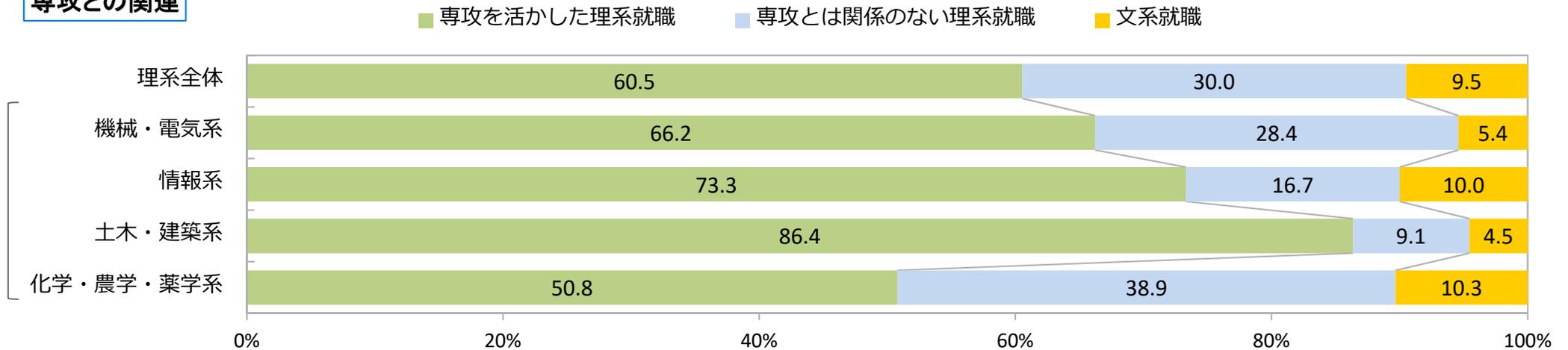
	理 系					(文 系)	
		機械・電気系	情報系	土木・建築系	化学・農学・薬学系		
1	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 13.6	自動車・輸送用機器 28.9	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 44.6	建設・住宅・不動産 77.8	素材・化学 16.9	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 13.8	
2	建設・住宅・不動産 11.6	電子・電機 15.8	調査・コンサルタント 6.2	官公庁・団体 6.7	医薬品・医療関連・化粧品 13.8	銀行 8.5	
3	自動車・輸送用機器 10.5	機械・プラントエンジニアリング 14.5	電子・電機 4.6	調査・コンサルタント 4.4	水産・食品 13.8	調査・コンサルタント 6.0	
4	電子・電機 8.2	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 5.3	機械・プラントエンジニアリング 4.6	運輸・倉庫 4.4	自動車・輸送用機器 8.5	建設・住宅・不動産 4.9	
5	素材・化学 7.4	通信関連 5.3	素材・化学 4.6	機械・プラントエンジニアリング 2.2	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 7.7	商社(専門) 4.7	
6	機械・プラントエンジニアリング 6.3	精密機器・医療用機器 5.3	マスコミ 4.6	ホテル・旅行 2.2	電子・電機 7.7	運輸・倉庫 4.7	
7	医薬品・医療関連・化粧品 5.7	商社(専門) 3.9	情報・インターネットサービス 4.6	農業・林業・鉱業 2.2	調査・コンサルタント 3.8	その他サービス 4.5	
8	水産・食品 5.4	運輸・倉庫 3.9			機械・プラントエンジニアリング 3.8	保険 4.3	
		エネルギー 3.9					

※「その他サービス」=介護・福祉サービス、アウトソーシングなどのサービス業

## 2. 就職決定職種、専攻分野との関連

- 理系全体の6割（60.5%）が、専攻を活かした理系就職であると回答。土木・建築系は8割強、情報系は7割強を占める（86.4%、73.3%）。
- 実際、決定職種を見ると、土木・建築系学生は「建築・土木設計系」、情報系学生は「IT系」に集中しており、専攻分野との結び付きが強い。
- 「IT系」職種は土木・建築系を除く専攻分野で3位以内に入り、幅広い分野の学生の進路として選ばれていることがわかる。

### 専攻との関連



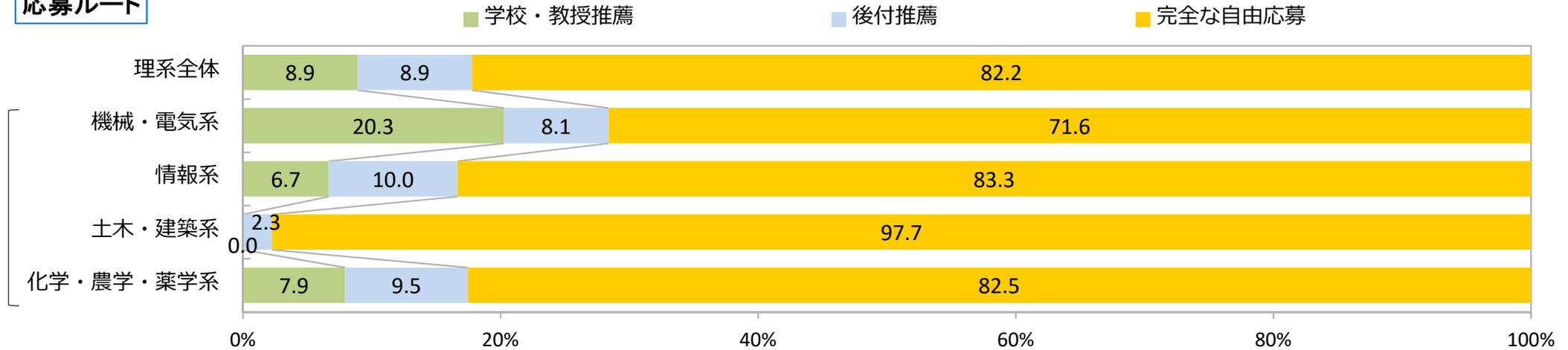
### 就職決定職種

順位	理 系					(文 系)	
	研究・開発・設計系	機械・電気系	情報系	土木・建築系	化学・農学・薬学系	営業系	事務・管理系
1	38.5	研究・開発・設計系 65.7	IT系 68.3	建築・土木設計系 79.1	研究・開発・設計系 52.3	営業系 34.3	
2	IT系 24.3	IT系 13.4	研究・開発・設計系 11.7	企画・マーケティング系 7.0	IT系 16.5	IT系 20.9	
3	建築・土木設計系 11.8	生産・製造・品質管理系 6.0	生産・製造・品質管理系 6.7	専門・スペシャリスト系 4.7	生産・製造・品質管理系 15.6	事務・管理系 20.0	

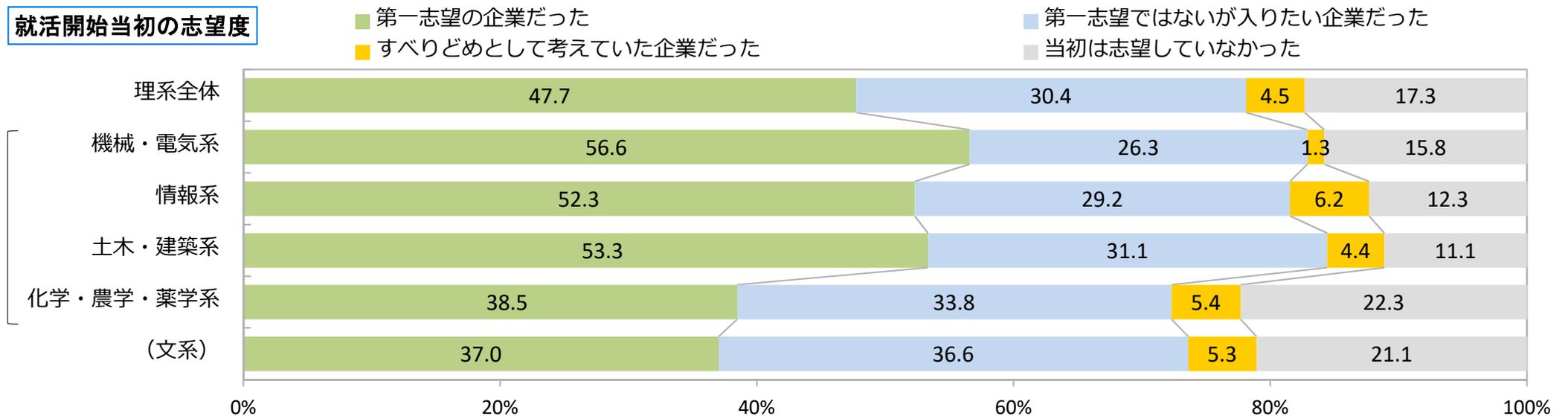
### 3. 就職決定企業への応募ルート、当初志望度

- 機械・電気系は「学校・教授推薦」での就職決定者が比較的多く、2割を超える（20.3%）。第一志望企業に決定した割合も高い（56.6%）。
- 土木・建築系学生は自由応募が9割以上を占めるなど（97.7%）、専攻分野によって活動スタイルに違いが見られる。

#### 応募ルート

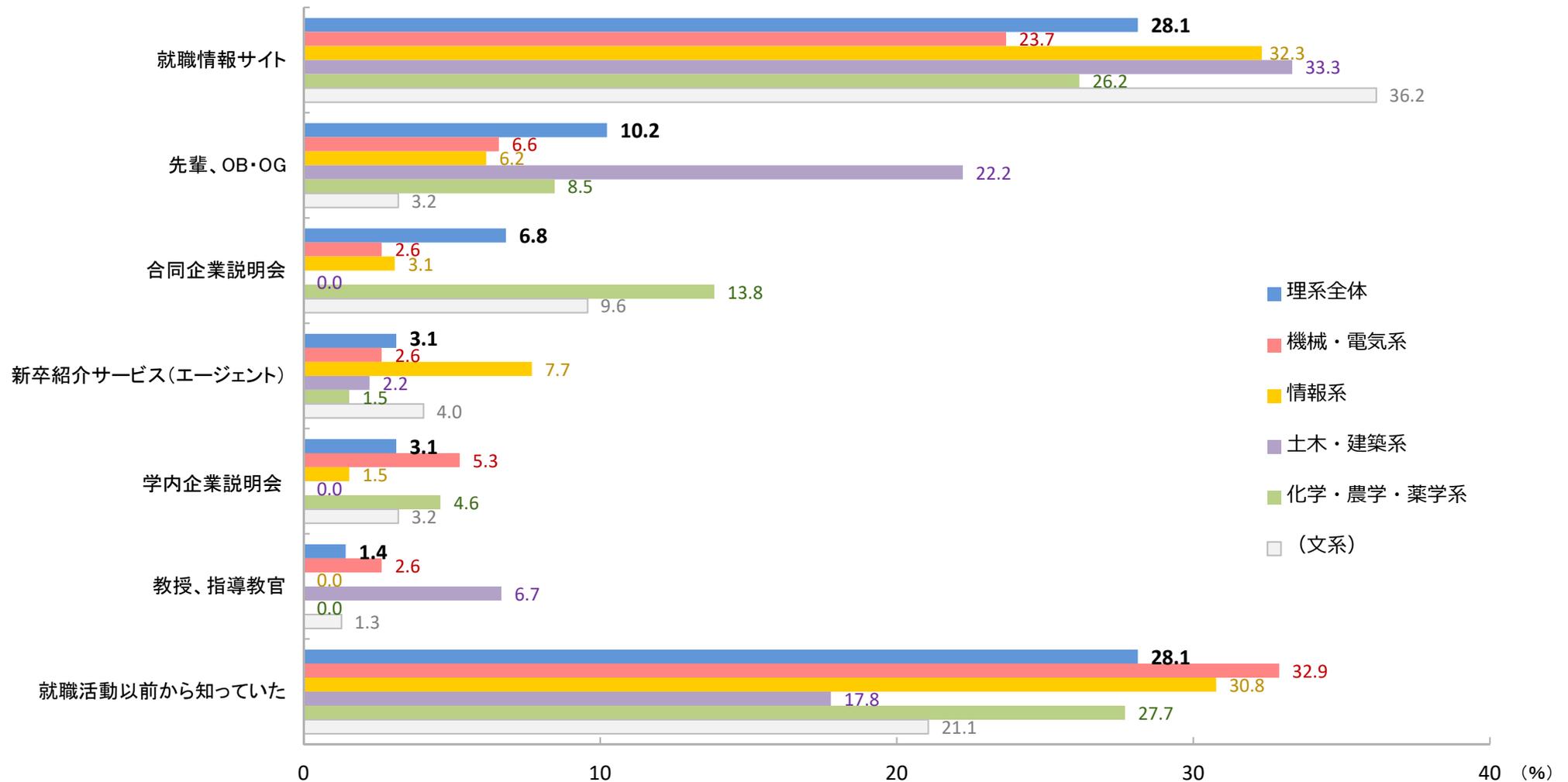


#### 就活開始当初の志望度



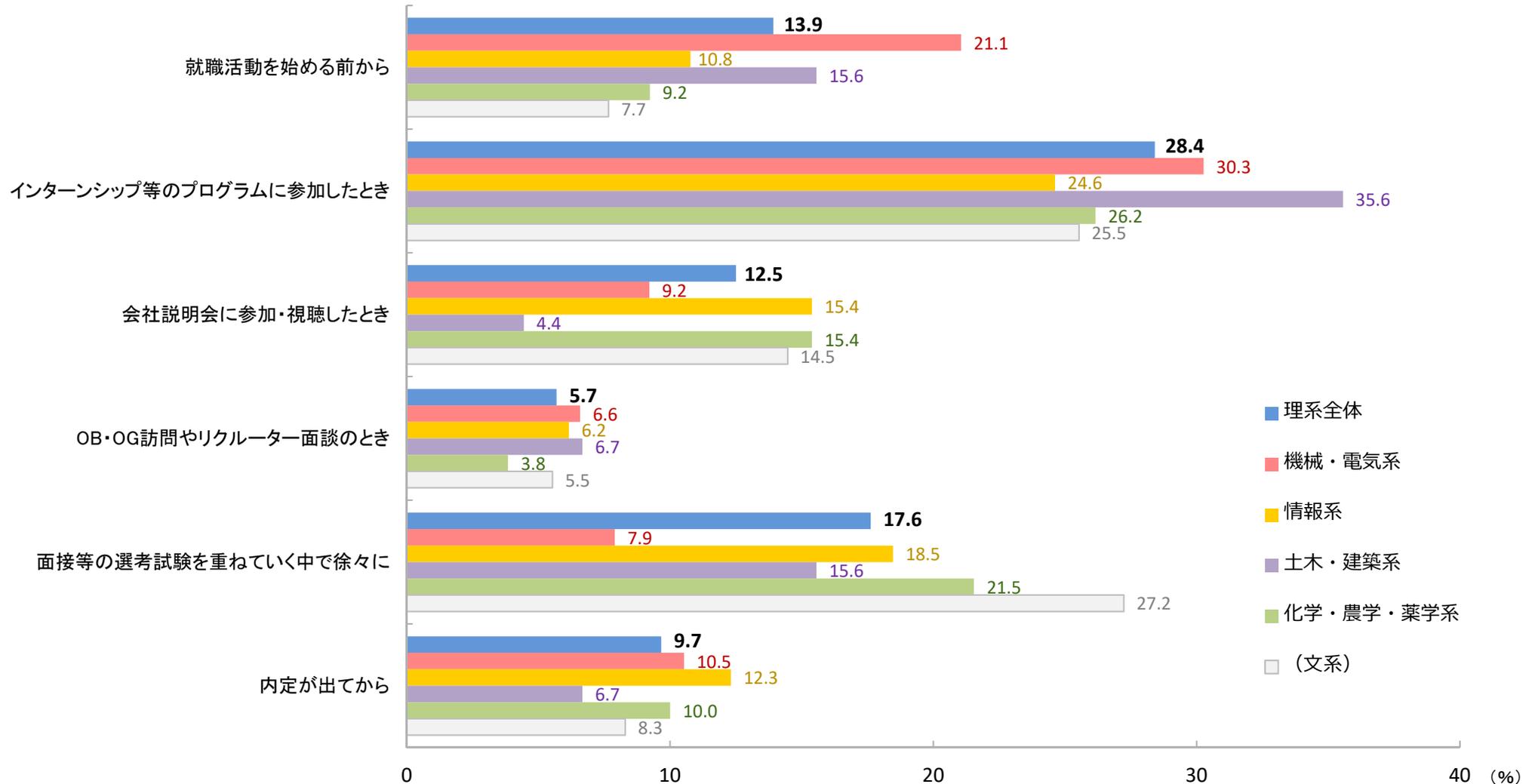
## 4. 就職決定企業を知ったきっかけ

- 理系全体では「就職情報サイト」と「就職活動以前から知っていた」が同率で最多（28.1%）。
- 土木・建築系と情報系は「就職情報サイト」が最も多く（33.3%、32.3%）、機械・電気系は「以前から知っていた」が最多（32.9%）。土木・建築系は「先輩、OB・OG」が他の専攻に比べ多いのが目立つ。



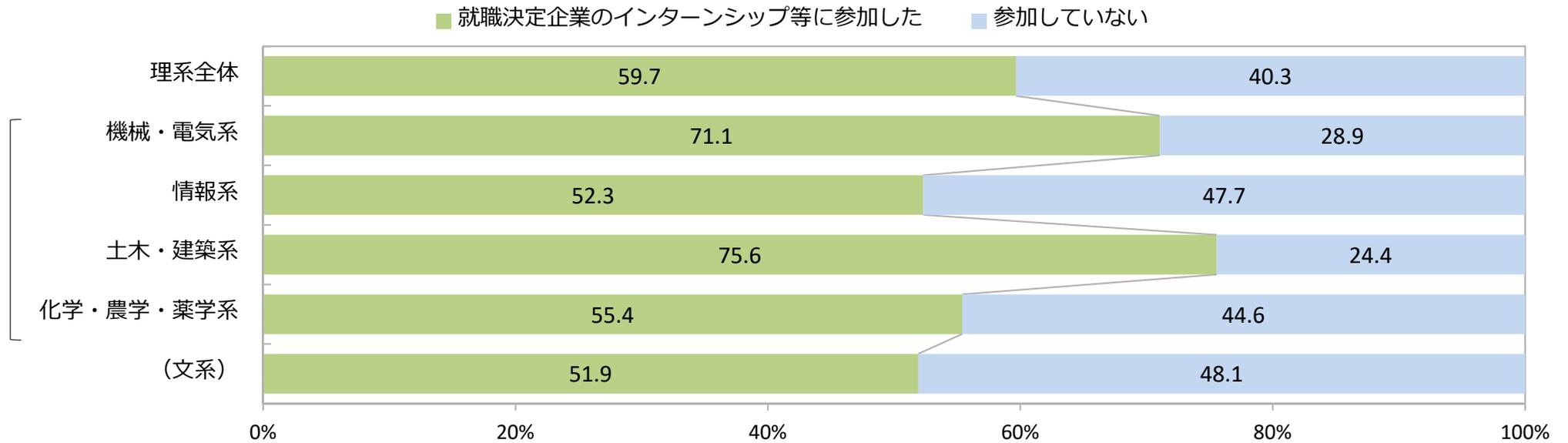
## 5. 就職決定企業で働きたいと思ったタイミング

- 理系全体では「インターンシップ等のプログラムに参加したとき」が最多（28.4%）。特に、土木・建築系で高い（35.6%）。
- 機械・電気系は「就職活動が始める前から」が高め。化学・農学・薬学系は「面接等の選考を重ねていく中で徐々に」が比較的高い。



## 6. 就職決定企業のインターンシップ等参加状況

- 理系学生の約6割が、就職決定企業のインターンシップ等への参加経験を有する（59.7%）。文系（51.9%）を上回る。土木・建築系と機械・電気系は7割台と経験者が多く（75.6%、71.1%）、情報系学生は比較的少ない（52.3%）。
- 理系は文系に比べ、長期プログラムに参加していた割合が高い。特に、機械・電気系、情報系で「2週間以上」の経験率が高い（14.8%、14.7%）。



### 就職決定企業のインターンシップ等参加日数（複数回答）

	理系					(文系)
	理系	機械・電気系	情報系	土木・建築系	化学・農学・薬学系	
1日以内のプログラムに参加	50.0	46.3	44.1	38.2	55.6	61.5
2~4日間のプログラムに参加	27.1	20.4	23.5	29.4	34.7	30.7
5日間程度のプログラムに参加	19.5	25.9	23.5	26.5	12.5	14.8
2週間以上のプログラムに参加	10.0	14.8	14.7	5.9	6.9	2.0

※就職決定企業のインターンシップ等に参加した学生を分母に、参加者の割合を算出

## 7. 就職決定企業に決めた理由

- 文系理系ともに、1位は「給与・待遇が良い」。文理で共通の条件となっている。
- 理系学生は文系よりも「大企業である」や「有名企業である」の順位が高いのが特徴的。
- 上位10位の顔ぶれに専攻による大きな差はないが、土木・建築系では「社会貢献度が高い」「将来性がある」の順位が他より高い。

※5つまで選択 (%)

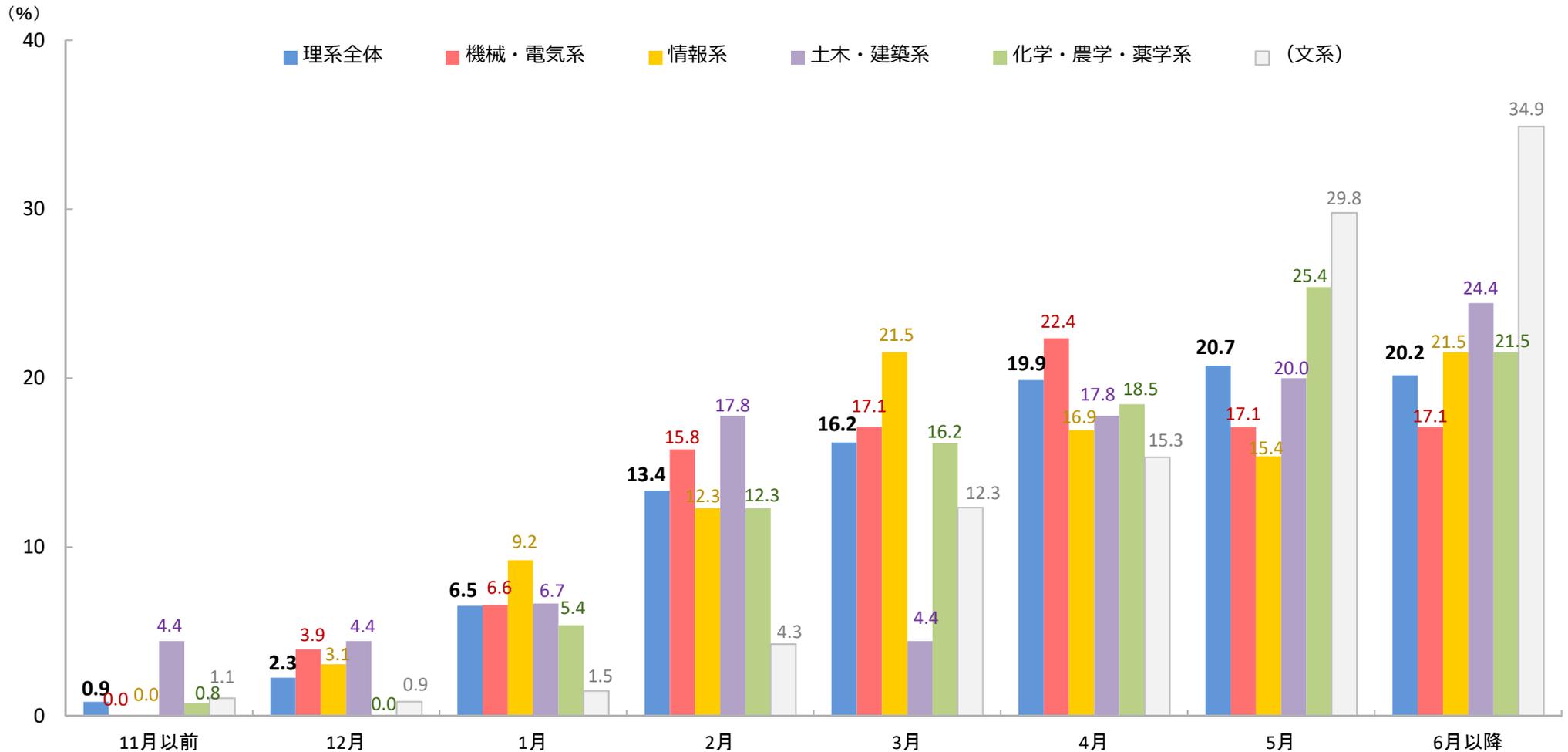
	理 系					(文 系)	
		機械・電気系	情報系	土木・建築系	化学・農学・薬学系		
1	給与・待遇が良い 34.7	大企業である 43.4	大企業である 40.0	社会貢献度が高い 44.4	給与・待遇が良い 36.9	給与・待遇が良い 37.7	
2	大企業である 32.4	給与・待遇が良い 39.5	有名企業である 36.9	将来性がある 31.1	希望の勤務地で働ける 30.0	社会貢献度が高い 30.6	
3	有名企業である 31.0	有名企業である 32.9	給与・待遇が良い 35.4	業界内の順位が高い 28.9	大企業である 29.2	希望の勤務地で働ける 27.7	
4	社会貢献度が高い 29.5	社会貢献度が高い 32.9	希望の勤務地で働ける 29.2	給与・待遇が良い 26.7	業界内の順位が高い 28.5	福利厚生が充実している 27.4	
5	将来性がある 29.3	将来性がある 30.3	福利厚生が充実している 27.7	有名企業である 22.2	将来性がある 27.7	有名企業である 27.2	
6	希望の勤務地で働ける 27.8	業界内の順位が高い 23.7	将来性がある 24.6	希望の勤務地で働ける 22.2	有名企業である 26.9	将来性がある 26.6	
7	業界内の順位が高い 25.0	休日・休暇が多い 23.7	業界内の順位が高い 21.5	職場の雰囲気が良い 22.2	社会貢献度が高い 26.9	大企業である 24.5	
8	福利厚生が充実している 22.2	希望の勤務地で働ける 21.1	教育・研修制度が充実している 21.5	大企業である 17.8	福利厚生が充実している 23.8	職場の雰囲気が良い 23.2	
9	職場の雰囲気が良い 19.6	福利厚生が充実している 18.4	社会貢献度が高い 20.0	希望の職種に就ける 17.8	職場の雰囲気が良い 20.8	業界内の順位が高い 20.9	
10	休日・休暇が多い 17.9	職場の雰囲気が良い 18.4	職場の雰囲気が良い 18.5	業績・財務状況が良い 17.8	休日・休暇が多い 18.5	仕事内容が魅力的 19.1	
			業績・財務状況が良い 18.5		仕事内容が魅力的 18.5		

## 就職先決定にあたり、特に決め手となった点(コメント集)

	決定業界	専攻分野
職種別採用やジョブマッチングで自分の希望する仕事を選べる点。	電子・電機	機械・電気系/男子
初任給が業界内でトップクラスに高く、さらに現役社員に対してもベースアップを実施していた点。	機械・プラント	機械・電気系/男子
社員の方がいい人ばかりで、優秀で熱心に仕事に取り組む姿勢が決め手となった。	自動車・輸送用機器	機械・電気系/男子
勤務地の工場が駅の近くだったので、他のメーカーよりもいいと思った。	非鉄金属	機械・電気系/男子
自分の好きな商材を取り扱っており、長く働けそうだと感じたため。	専門商社	機械・電気系/女子
社会を支えているインフラに携われる点。	エネルギー	機械・電気系/男子
インターンシップ及びその後の関わりを持った人の雰囲気良かった。	情報処理・ソフトウェア	情報系/女子
社員の手厚いフォローがあったこと、企業理念に共感したこと。社長や役員の方々と最終面接でお話して、良い雰囲気企業だと感じたから。	情報処理・ソフトウェア	情報系/女子
説明会や選考に参加したときに、人事社員や役職クラスの方々の印象良かったから。	機械・プラント	情報系/女子
使命感を持って働くことができる点と、アカデミックな方面に明るい方々が多く親近感を覚えた点が、主要な決め手となりました。	銀行	情報系/男子
給与・待遇と福利厚生がかなり整っているため、不便な点が少なそうだったから。	情報処理・ソフトウェア	情報系/男子
残業が少ないため、仕事に必要な資格を取ったり、勉強をするための時間と両立できると考えた。	建設・住宅・不動産	土木・建築系/女子
コンサルタントなので、自身の市場価値を上昇させることにつながると考えたから。	コンサルティング	土木・建築系/男子
OBが働いているため。	建設・住宅・不動産	土木・建築系/男子
面接が2回あったが、どちらもその場で通過を伝えていただき、すごく合っていると認められている感じがしたから。	情報処理・ソフトウェア	化学・農学・薬学系/女子
配属先が都内確約という点が特に魅力的だと感じた。	コンサルティング	化学・農学・薬学系/女子
自身の研究を生かしながら働けると実感できていたため。	素材・化学	化学・農学・薬学系/男子
どんな情報でも隠さずに教えてくださる姿勢と、入社後に自由な働き方が可能であり、ライフイベントとの両立が可能であると感じたから。	自動車・輸送用機器	化学・農学・薬学系/女子
企業理念や製品・活動内容は魅力的に感じていたが、大きな決め手となったのは研修制度や福利厚生の充実度と、給与水準が高いことである。	医薬品	化学・農学・薬学系/女子

## 8. 就職先を決めて就職活動を終了した時期

- 理系は文系に比べ活動終了時期が早い。3月までを合計すると約4割になる（計39.3%）。文系は6月以降が最多（34.9%）。
- 最も早いのは情報系学生。最初のピークは3月で（21.5%）、3月までの合計は46.1%。機械・電気系のピークは4月（22.4%）。化学・農学・薬学系のピークは5月（25.4%）で、土木・建築系は6月以降が最多（24.4%）。専攻分野によって終了時期にも特徴が見られる。



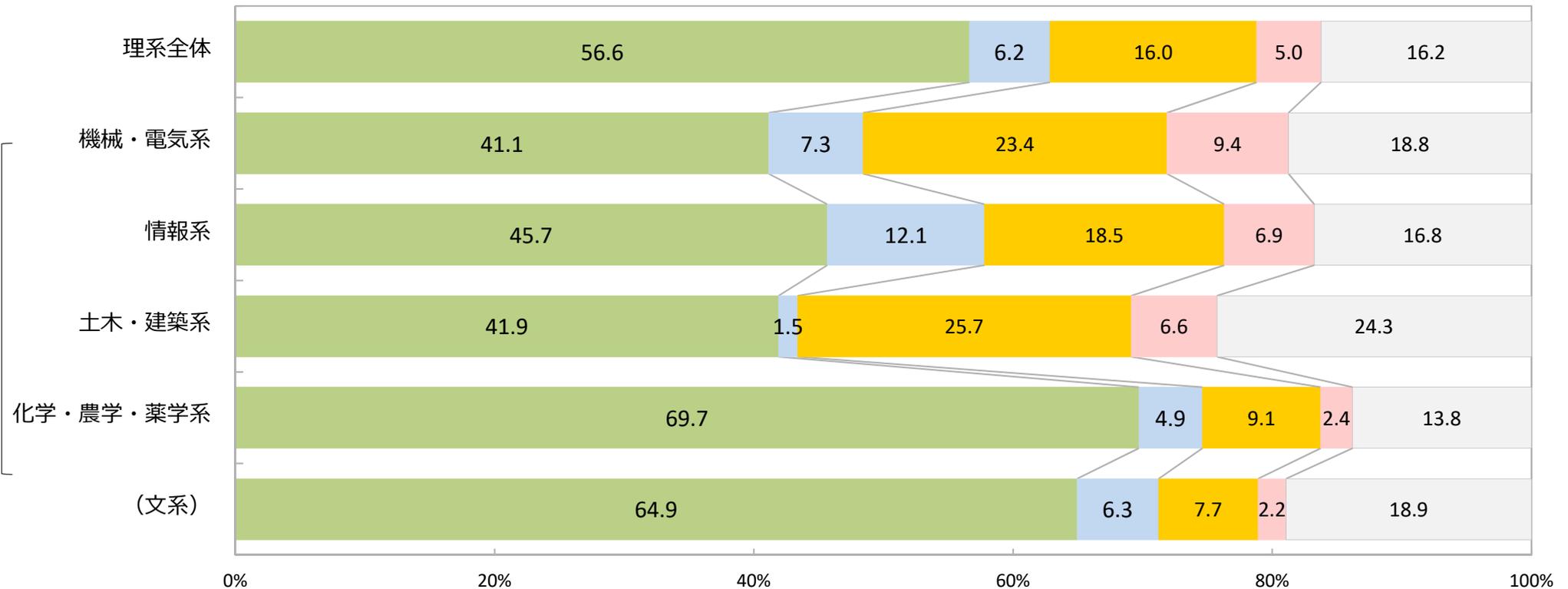
※7月1日時点の就職先決定者が回答

## 【参考】 インターンシップ等参加状況①(参加類型)

- 「タイプ1：オープン・カンパニー」への参加が過半数を占めるが（56.6%）、文系に比べ「タイプ3：インターンシップ」の割合が高い（計21.0%）。
- 機械・電気系、土木・建築系においては「タイプ3：インターンシップ」の割合は3割を超える（計32.8%、計32.3%）。
- 化学・農学・薬学系は「タイプ1：オープン・カンパニー」が約7割を占める（69.7%）。文系学生と近い傾向を示している。

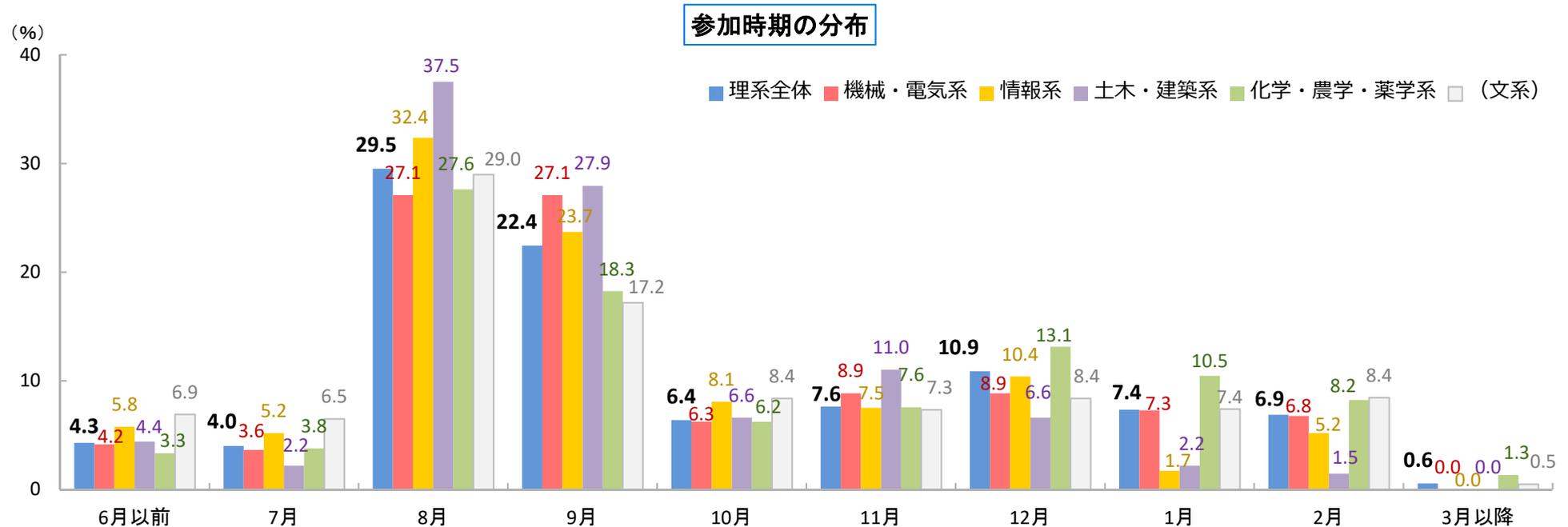
参加プログラムの類型(分布)

- タイプ1：オープン・カンパニー
- タイプ2：キャリア教育
- タイプ3-①：汎用的能力活用型インターンシップ（5日間以上）
- タイプ3-②：専門活用型インターンシップ（2週間以上）
- どのタイプに分類されるかわからない、その他



## 【参考】 インターンシップ等参加状況②(参加時期、社数)

- 参加はいずれの属性も8月・9月の夏季休暇中に集中。特に土木・建築系で夏の参加割合が高い。化学・農学・薬学系は秋以降も比較的多い。
- 参加社数は文理差が大きく、文系が13.1社に対し理系は8.9社。理系の方が4社以上少ない。
- 理系の中では化学・農学・薬学系と情報系が比較的多く、それぞれ9社台（9.4社、9.3社）。

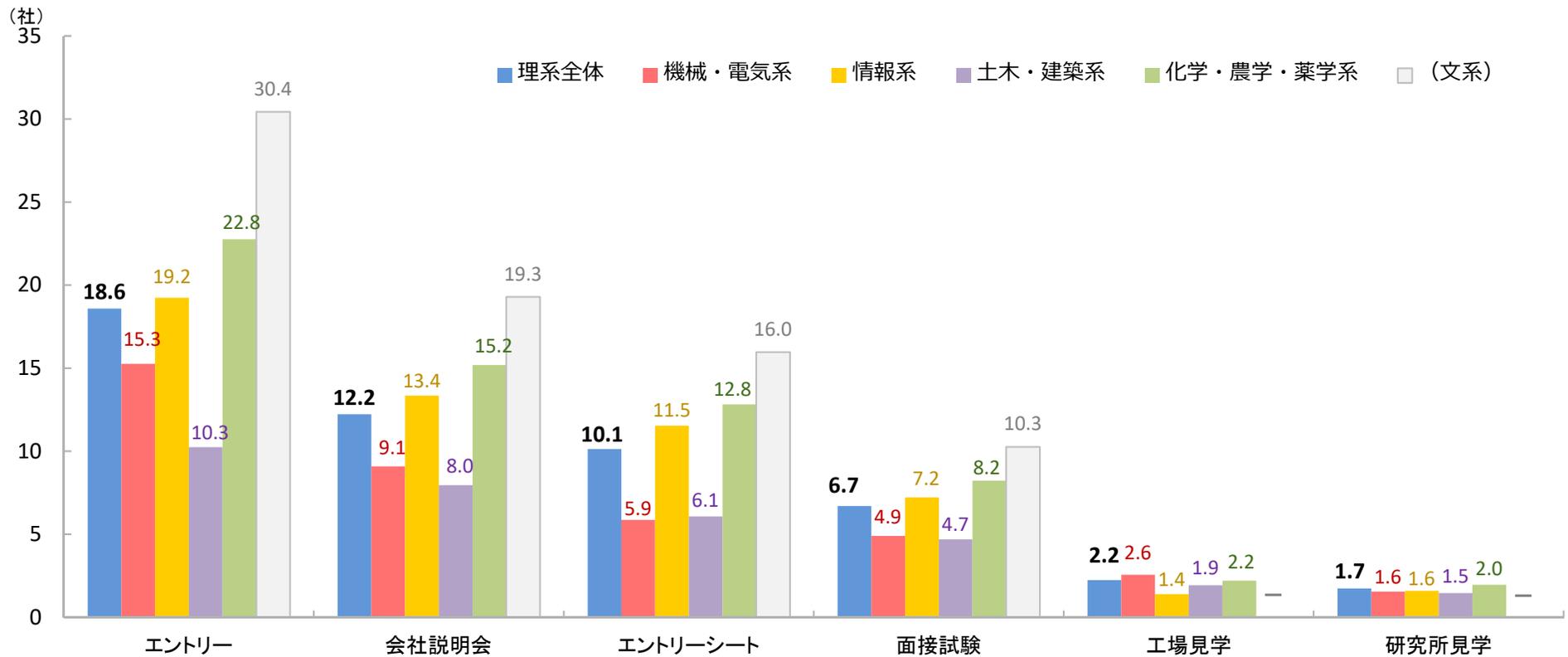


### インターンシップ等の応募社数・参加社数

	理系全体	機械・電気系	情報系	土木・建築系	化学・農学・薬学系	(文系)
インターンシップ等応募社数／平均	15.4社	12.3社	15.4社	9.7社	19.1社	21.1社
インターンシップ等参加社数／平均	8.9社	7.9社	9.3社	7.4社	9.4社	13.1社

## 【参考】就職活動量(平均社数/7月時点)

- 理系学生の活動量(社数)は、すべてのフェーズにおいて文系を下回り、企業を絞って活動する傾向が強い。特に、エントリー社数で文理差が目立つ(理系18.6社、文系30.4社)。
- 理系の中でも土木・建築系や機械・電気系学生は活動量が少なく、化学・農学・薬学系は比較的多い。



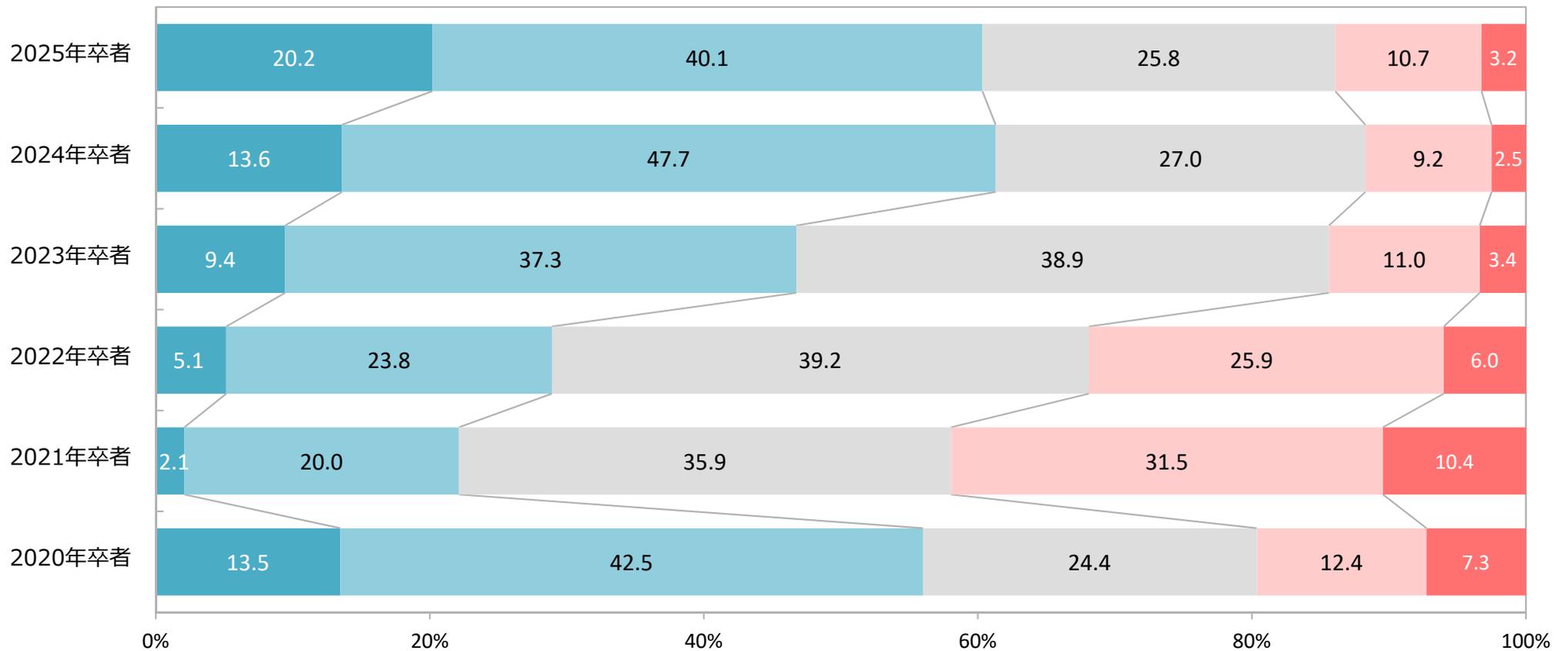
### 【経験率】

分野	エントリー	会社説明会	エントリーシート	面接試験	工場見学	研究所見学
理系全体	96.0%	95.1%	94.4%	92.8%	42.1%	28.6%
機械・電気系	95.6%	95.6%	93.5%	90.2%	65.2%	30.0%
情報系	96.3%	97.4%	94.9%	92.4%	13.7%	6.8%
土木・建築系	92.9%	91.1%	89.3%	87.5%	27.8%	31.5%
化学・農学・薬学系	96.2%	94.2%	95.5%	94.9%	50.3%	41.1%
(文系)	98.3%	97.1%	96.5%	96.2%	-	-

## 【参考】理系学生の就職環境への考え(売り手市場の実感)

- 「完全に売り手市場だと思う」「やや売り手市場だと思う」を合わせて6割が「売り手市場」を実感（計60.3%）。
- 「完全に…」が前年よりさらに増加したのが特徴的（13.6%→20.2%）。
- 自分たちの就職環境を「売り手市場」だと感じる理系学生の割合は、コロナ禍前に就職活動をした2020年卒者を上回る。

■ 完全に売り手市場だと思う ■ やや売り手市場だと思う ■ どちらでもない ■ あまり売り手市場だと思わない ■ まったく売り手市場だと思わない



※理系学生(理系全体)の集計結果

## 就職環境への考え(コメント集)

就職環境の見方	そう思う理由	専攻分野
完全に売り手市場だと思う	こんなに内定をもらえると思っていなかった。どこも人手不足だと感じた。	化学・農学・薬学系/女子
	受けた企業のほとんどから内定をいただき、周りの友達などもほとんど落ちていなかったから。	土木・建築系/男子
	私の周りでも希望する企業に内定をもらっている人が多いと感じるから。	機械・電気系/男子
	書類などではまったく落ちなかったのに、需要があると感じた。	情報系/男子
	圧迫面接をほとんど受けなかったし、人事も丁寧だった。	機械・電気系/女子
やや売り手市場だと思う	人気企業はもちろん倍率は高いが、人手は不足しているように感じている。	化学・農学・薬学系/男子
	土木分野は人手不足なので、説明会などに行くと売り手市場だと感じる。	土木・建築系/男子
	選考で意識したことはないが、初任給や採用人数の引き上げを見ると、客観的には売り手市場だろう。	機械・電気系/男子
	インターンシップに参加した企業などから二次募集、三次募集の案内が頻繁に来るから。	土木・建築系/女子
	完全に専攻と関係ない職種であっても必要とされている感覚があったから。	化学・農学・薬学系/男子
どちらでもない	こんな私でも一流企業から内定を得ることができたから。	情報系/男子
	業界や能力・スキルによって様々な状況なので、一概には判断できない。	土木・建築系/男子
	学生に優位と言いつつも、企業が学生に求めるレベルも高いように感じるから。	化学・農学・薬学系/女子
	周りには落ちている人も多くいたため。	機械・電気系/男子
	いわゆる大手企業を志望して就職活動を行った自身の所感としては、選ぶ側ではなく選ばれる側であると思う。一方で中小や比較的人手不足の業界においては学生は企業を選ぶことができると考える。	情報系/男子
売り手市場だと思わない	理系修士は確かにあまり苦労しなかったが、文系はどうなのか。	化学・農学・薬学系/男子
	大企業は依然として就職難易度が高いから。	機械・電気系/男子
	業界による。募集人数が少なく倍率が高い企業を中心に応募したため、厳しめを感じた。	化学・農学・薬学系/女子
	自分が見ていた大企業は買い手市場だと思うから。	情報系/男子
	企業にとって非常にメリットのある研究をしていたにもかかわらず、面接すらしてもらえなかったから。	化学・農学・薬学系/男子
結局人気企業は入りづらい。売り手市場だと騒がれても安心したことは1度もなく、むしろプレッシャーが強まった。	土木・建築系/女子	